

特集：風が抜ける家

IN BETWEEN

東京都大田区

矢板久明+矢板直子
/ 矢板建築設計研究所
Yaita and Associates

収縮クラックを発生させないコンクリート打設法
コンクリートの打設時に再振動を行った結果、1年半経った現在でも収縮クラックは発生していない。打設時には通常の倍の200Vのインバーターとφ=40mmのパイプレーダーで再振動を実施したことで達成できたと考える。
再振動はコンクリート打設後、指で押してかたが残る程度に固まった時に実施するが、コンクリート硬化時の遊離水が通った水みちを潰していくことで、クラックの発生しにくい密実な躯体とする工法である。
(矢板久明)

北から見る。東西に長い敷地に建つ、2世帯住宅。北側斜線をかわしつつ空間を積み上げたような佇まいとし、接道面に平行な壁面と開口部回りを白く塗装することで、街に対してボリューム感を軽減しつつ多様に外部を取り込む。北側に張り出す飛梁は2階の目隠しとして、また1階に光を落とす反射板としての役割を果たす。



2階テラス。前面道路に向かって張り出す3階居間下の空間で、2階書斎を介して出入りする。天井高は2,500mm。植栽上部は26×50mmのスチールパイプを並べたデッキで、光と風を通す。

北向きの空間を活かす反射壁

撮影の日に久しぶりに訪れると、木々もほどよく育ち、周辺の環境に溶け込み、曇りのためか建築の構成が明確に浮かんで見えていた。この時ちょうど愛犬の散歩で通りかかった初老の男性から「この建物はモダンで、クラシックですね」と声をかけられた。「クラシック」という言葉に驚きながらも、その意味を考え始めていた。

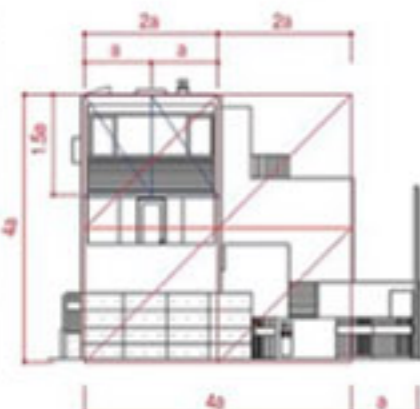
敷地は東京南部にあり、代々この地域に住まう家族のための2世帯住宅である。長男一家の住まいは上階とし、両親の住居はバリアフリー化が容易な1階とすることになった。敷地は東西に長いので、北側斜線と日影規制を考慮し、容積いっぱいには3階建てでつくると、建物を南に寄せなければならなかった。この条件で十分な光

を取り込むための工夫として、反射壁（飛梁）を2階北側に浮かぶように設け、隣家からの目隠しも兼ねた。これにより1階と2階に別の領域が生まれ、それぞれの家の玄関の構えとなった。1階仏間には、反射した光がハイサイドライトから室内を明るく満たしてくれる。2階西側では、寝室と浴室の目隠しになると共に、1階ではこの飛梁により上方への視界は遮られ、敷地境界に設けた塀との間にもうひとつの領域をつくり出した。1階の寝室から眺めると、飛梁の下では、空間は塀まで広がり、さらに隣の家の庭まで広がっていく。この建築を成立させる空間の質はこれらの挟まれた空間どうしの関係から生まれるのであり、「IN BETWEEN」と名付けた所以である。冒頭の言葉に触発され、この建築にいかなる関

係が潜んでいるか探ってみることにした。浮かび上がってきたのは正面が高さと幅が同じ正方形を基本とし、2:3の矩形を組み合わせたオーダーであった。調和を希求し真理へと向かう扉のひとつが数的宇宙観であることを以前にも書いたが（本誌1207、42頁）、ここでもアイデアに共鳴した関係があることに気づいた。そして、躯体の正面に向いた面を白くすることで、建築の印象を軽くすることを意図したのであったが、これが古典的な意味でのファサードをつくらうとする意識であったことに気づかされた。それは通りに対しての敬意の表われであり、街への表敬であったのかもしれない。遠い記憶の断片としてアルベルティのマンパにあるサンセバスティアノ教会が脳裏をよぎった。通りがかった方はそれを知らせに来てくれたと思えてならない。（矢板久明）



プロポーシヨン図



東側外観。



サンセバスティアノ教会（レオン・パッティスタ・アルベルティ設計）。

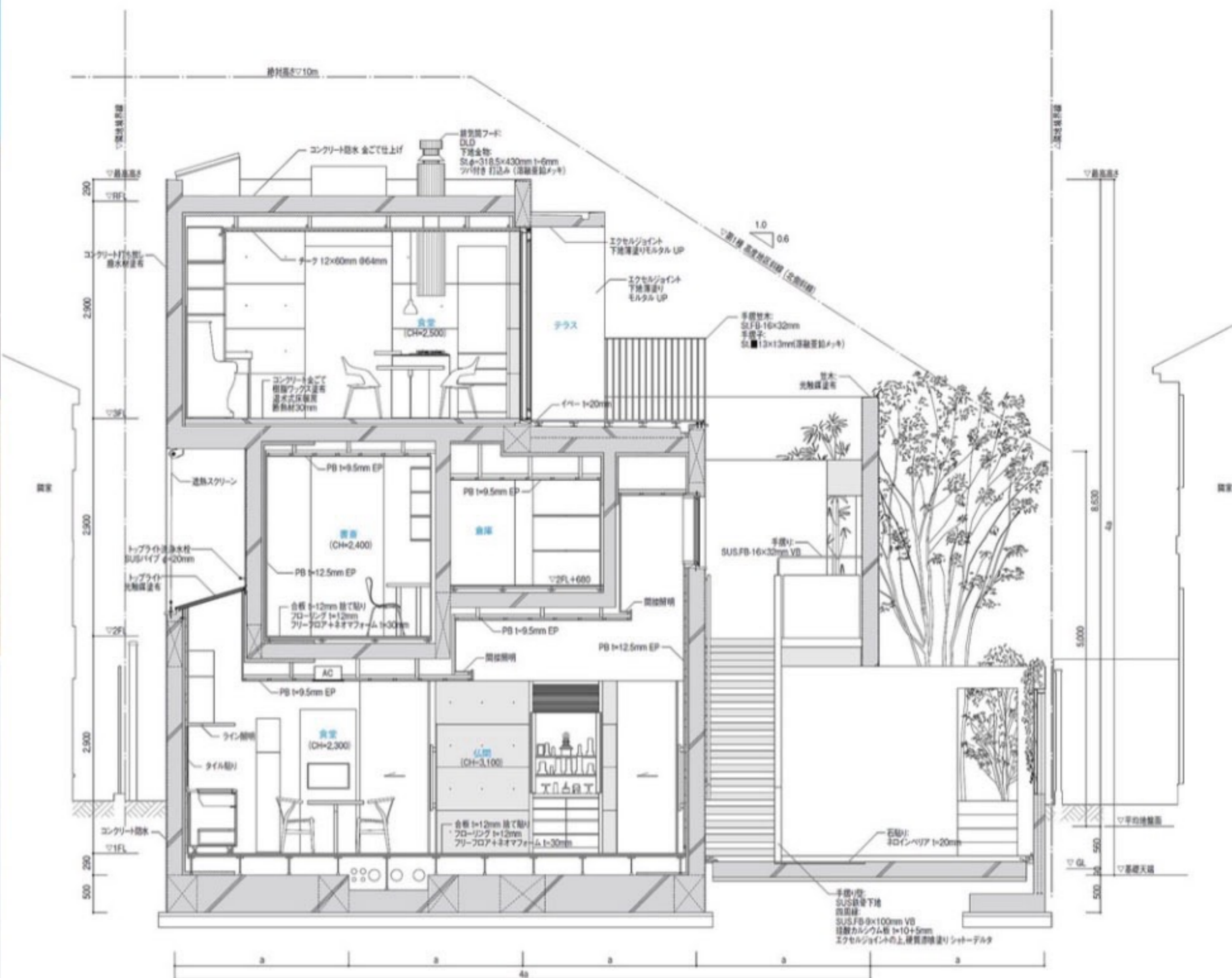


1階寝室横のテラス。地面より750mm掘り込まれ、上部の飛梁は外周の塀との間にできた空間も含めレイヤー状に空間を積層させ、プライバシーも確保する。*



3階台所から居間方向を見渡す。3階は台所の連窓や階段上部のトップライト、テラスの掃き出しや居間の出窓とさまざまな方法で光を取り込み、質の異なる居場所をつくる。短手方向の構造壁量は北側に張り出した台所バックカウンターや北側テラス庇、そして南側は収納ニッチとして確保。その結果、長手方向の軸線は各場所を縫いつつ左右に僅かながらうねるように連続する。

3階テラス。2階の居室の灯りが飛梁を照らす。



断面詳細図 縮尺1:75 (a=2,320mm)



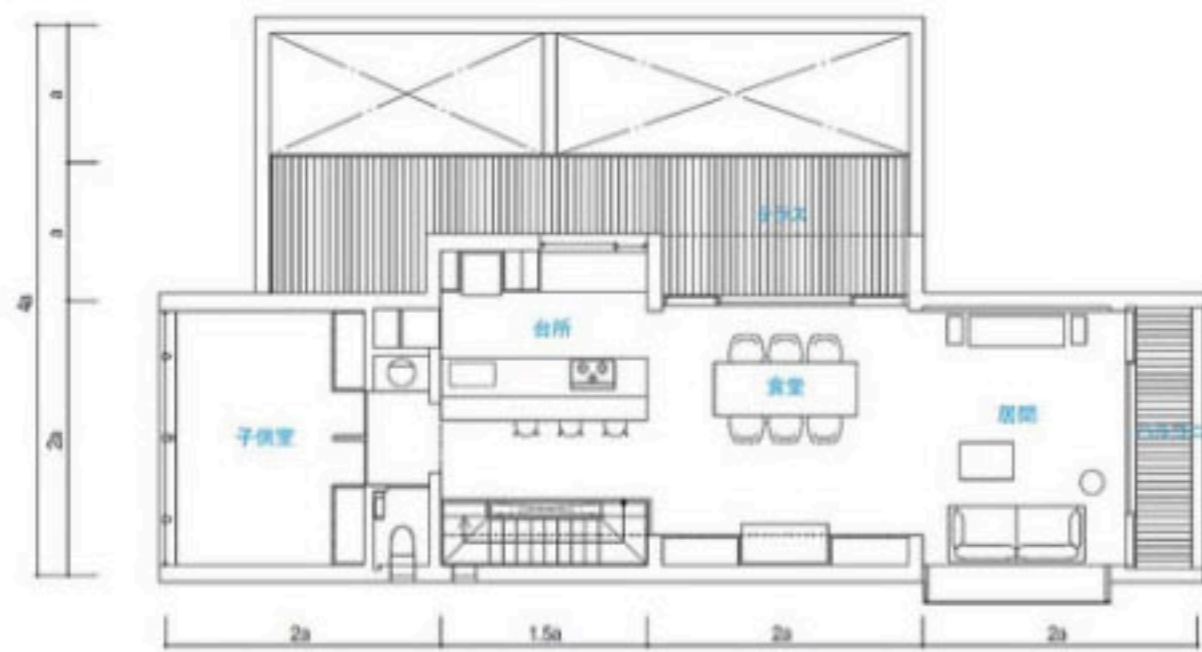
1階親世帯の仏間。代々の位牌の並ぶ仏壇を中央に設え、天井高は3.1mを確保。仏壇が設えられた打放しのコンクリート構造はコアとして扱われている。北側ハイサイドライトからの光は、飛梁の反射光。右奥は玄関。



1階寝室前の北庭。植栽の植る基礎部分と飛梁の間は1,800mm。手前の竹から隣家のツタの縁へ連続する。



3階台所横のテラスより見下ろす。左下のバルコニーは2階寝室に取り付く。



3階平面図



2階平面図



1階平面図 縮尺1:200 (a=2,320mm)



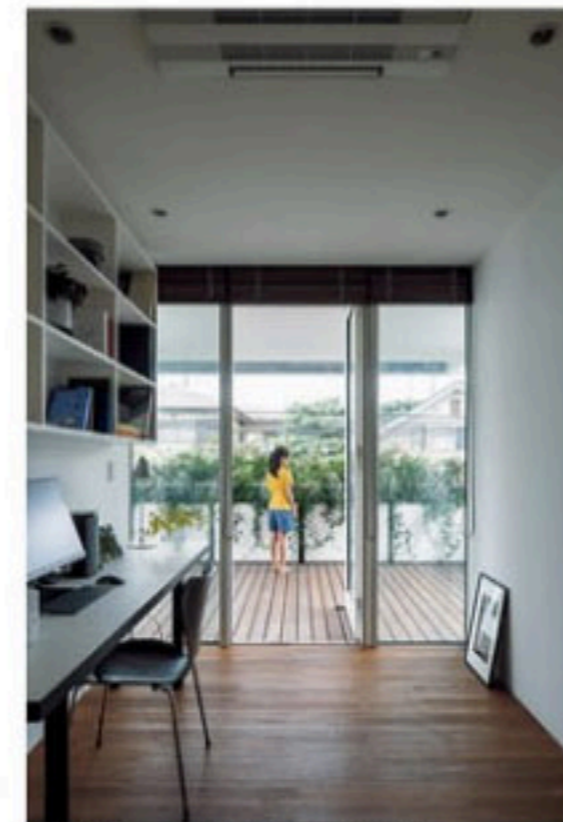
断面図 縮尺1:200 (a=2,320mm)

IN BETWEEN

所在地 / 東京都大田区
 主要用途 / 2世帯住宅
 家族構成 / 親夫婦+子夫婦+子供2人

設計
 矢板建築設計研究所 担当/矢板久明
 矢板直子 小沼翔太 栗原佳子 菅家幹
 (元所員)
構造 構造計画プラス・ワン 担当/金田勝徳
 長谷川尚香
設備 島津設計 担当/島津充宏
 コーディネート ザ・ハウス
施工
 渡辺富工務店 担当/伊藤進 水野晴夫
設備 五十嵐工業所 担当/関口勉
電気 ムラデン 担当/藤木利之 野村大和
 高・型枠 山上 担当/土屋雄一
金属 サスプロ 担当/大谷計
左官 大道左官 担当/大道康雄
塗装 中野コーティングス 担当/小町忠明
 吉源昌鴻
コンクリート補修 阿世知工芸
 担当/阿世知政次郎 阿世知憲一
サッシ 城南ケンソー 担当/岡村武晴
建具 武藤建具 担当/武藤恒夫
家具 ワタナベ製作所 担当/渡部伸吾
 川口茂
カーテン・ブラインド 空間 担当/沼澤幸喜
 前崎晋(ナビオ)
造園 箱根植木 担当/保永博文 長澤仁志
構造・構法
 主体構造・構法 鉄筋コンクリート造
 基礎 直接基礎

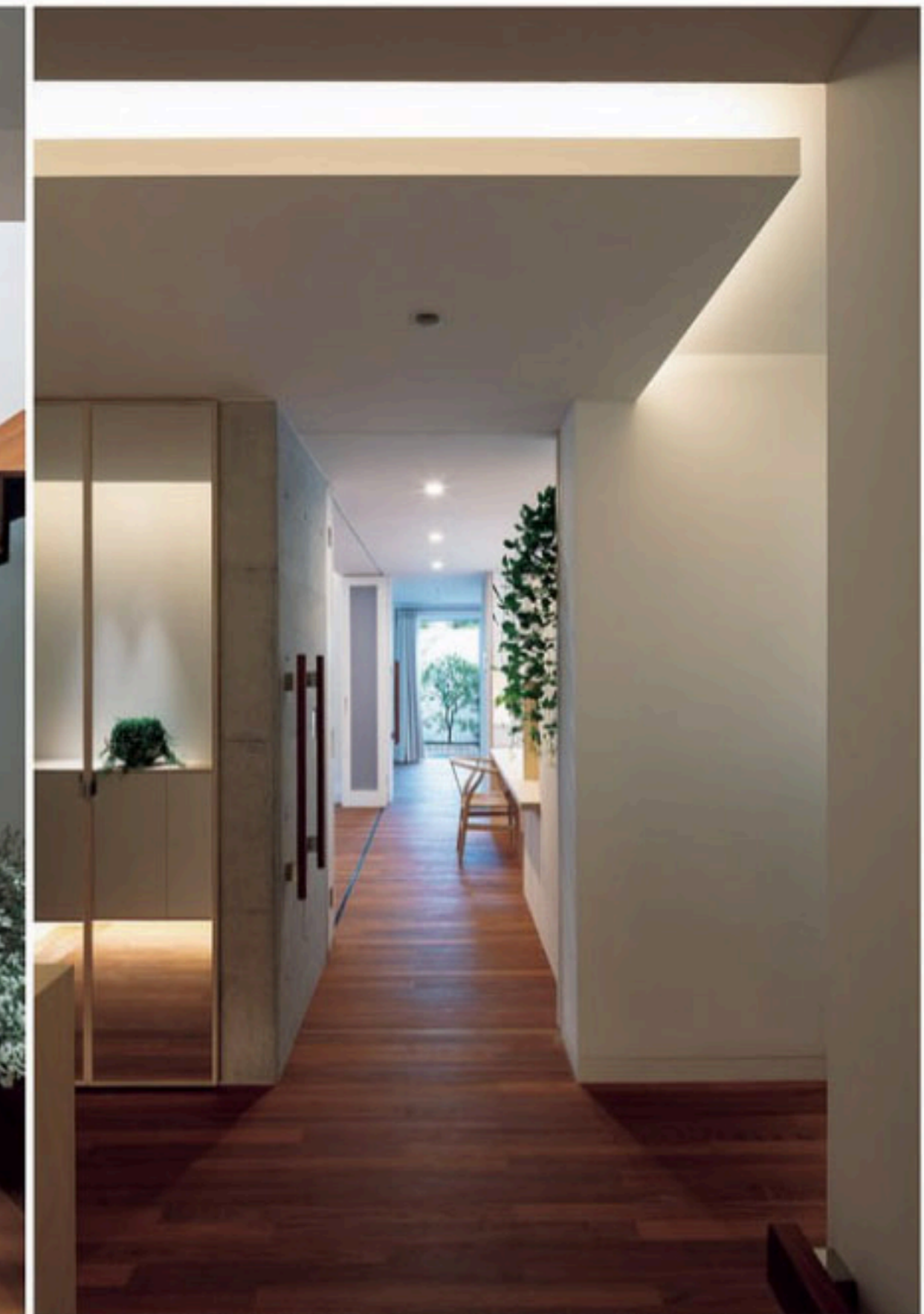
規模
 階数 地上3階
 軒高 8,480mm 最高高さ 8,630mm
 敷地面積 246.96㎡
 建築面積 116.29㎡
 (建築率47.08% 許容50%)
 延床面積 238.10㎡
 (容積率96.41% 許容100%)
 1階 104.03㎡ 2階 55.42㎡
 3階 78.65㎡
工程
 設計期間 2017年10月~2019年7月
 工事期間 2019年12月~2021年4月
敷地条件
 地域地区 第1種低層住居専用地域 準防火
 地域 第1種高度地区
 道路幅員 東8m
外部仕上げ
 屋根/防水コンクリート(タケイ工業)金こて
 仕上げ
 外壁/コンクリート打放し デックガード(東
 亜貿易) エクセルジョイント(渋谷製作所)



2階書斎。テラスの奥行きは3,350mm。



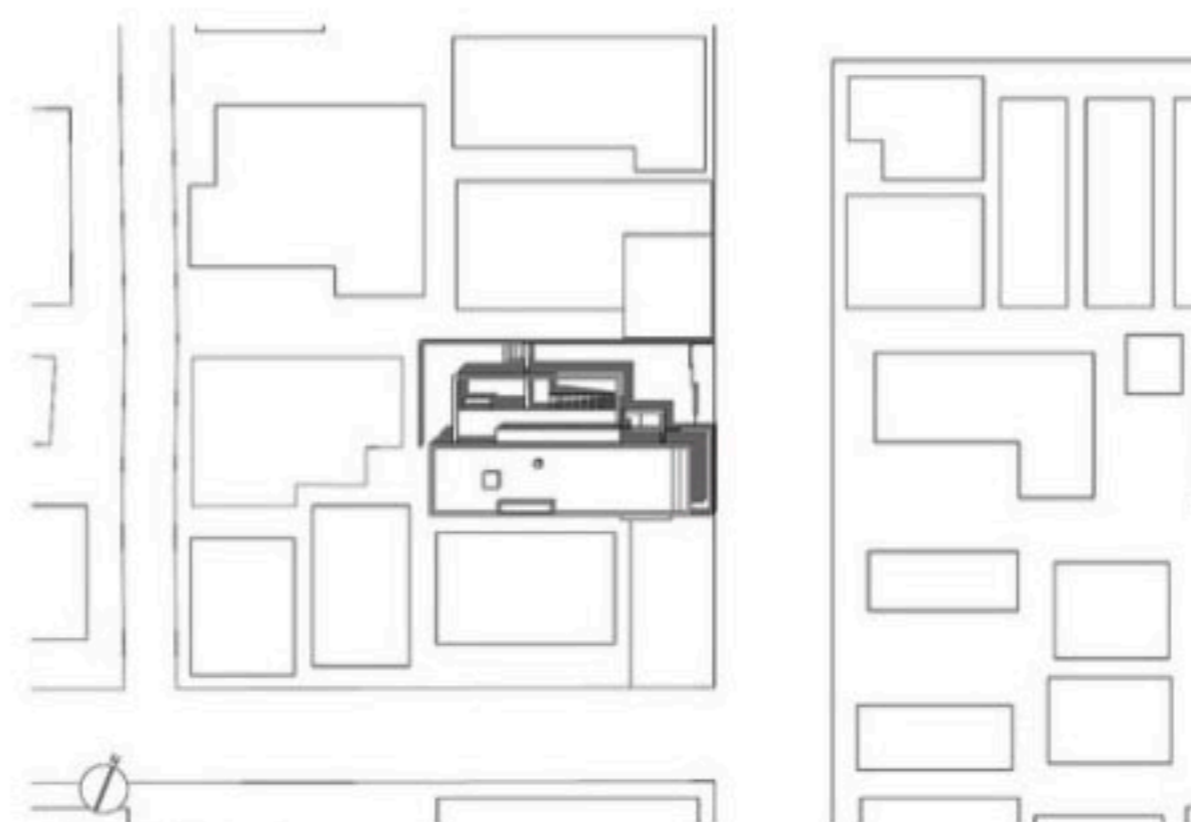
2階階段。蹴面は230mmをベースとしつつ、蹴上板を斜め加工することで15mmの蹴込みをつくり、昇降しやすさに配慮した。鉄骨下部の角にはゴムをつけて安全性も確保。窓はガラスルーバー窓とし木製ガラリの網戸もつけて、家全体に空気の淀みをつくらぬよう開口を設置している。



1階親世代。高齢な建主が室内を安全に移動できるよう、手摺りを設置している。引き戸は扉を跨ぎどちら側からでも使えるよう2本の手摺りを設置。手摺りは、縦型:φ=32mmチーク+脚18×60mm SUS1.5mm鏡面、横型:チーク32×60mm+脚40×40mm SUS1.5mm鏡面。*

下地モルタル薄塗りUP
 開口部/特注スチールサッシ(城南ケンソー)
 アルミサッシ(三協アルミ)
 外構/アプローチ:コンクリート金こて仕上げ
 防汚処理(カンエツ) 石張り(コアド&マテ
 リアルズ ネロインペリア) t=20mm
 テラス:デッキ材イペー t=20mm
 バルコニー:鋼製デッキ St 50×26×1.6mm
 @36mm 溶融亜鉛メッキ仕上げ
内部仕上げ
 寝室 書斎(1・2階) 子供室
 床/チークフローリング(IOC) t=12mm OS
 壁/PB t=12.5mm EP 一部コンクリート打
 放し
 天井/PB t=9.5mm EP
玄関(1・2階)
 床/コンクリート研出し仕上げ(カンエツ)
階段(2・3階)
 フレーム/ST PL t=16mm溶接(日南鉄構) SOP
 蹴面/230+15mm チーク無垢 t=20mm OS
 蹴込/207mm チーク無垢 t=32~17mm
 (蹴込み15mm斜め加工) OS 幅員750mm

ノンスリップ(アシスト) 怪我防止コーナー
 ゴム 16×16×50mm
居間 食堂 台所(3階)
 床/コンクリート金こて仕上げ 樹脂ワックス
 天井/チーク t=12mm (IOC) OS
 厨房機器/モビリティーボ
 ワークトップ/1階:人工大理石
 3階:SUS HL t=1.5mm 曲げ加工
 換気扇/1階:ARIAFINA 壁付け
 3階:FABER 天付け
 化粧材/1階:メラミン化粧材 3階:フィン
 ランドバーチ積層合板(コアド&マテリアルズ)
 OS拭取り メラミン化粧合板
設備システム
 空調 冷暖房方式/空冷ヒートポンプ式
 床暖房/ガス温水式床暖房
 給排水 給水方式/上水道直結
 給湯 給湯方式/ガス給湯機
 撮影/新建築社写真部
 **撮影/小川重雄



配置図 縮尺1:800



南東から見る夕景。